

環境と市場

第1部・規制に揺れる②

検査機械が振るい落とし（EU）が施行するRoHS（電子機器で鉛や水銀など特定有害物質六品目の含有し、適合品を仕分ける。半導体などの取り付けに使うはんだを鉛不使用品にしてから、はんだ付けを禁止する。パソコンやの表面の形が整わなくなつた。性能には影響がない。だが、機械検査では、合金、はんだを鉛不使用良品、不良品の判定が極めて難しくなつた。

富士通のノート型パソコンの製造子会社、島根富士通（島根県斐川町）は「検査のための熟練工の価格は従来品の二倍を新たに育てる必要に迫られた」と話す。七月一日から欧州連合が検査要員の養成費な

「コストとのせめぎ合い」

製品価格への転嫁難しく

コストは膨らんだ。

うざるを得ない。

量が〇・二%前後だと、

二十トン級の新型油圧ショベルの販売価格を二月発

上げ千六百四十万円とする。

主流の三%程度のほぼ二

年に一万戸と十年前の三

海運業界も大気汚染対策で代替燃料への転換を

削減は重要課題。環境規制への対応は新たなコスト負担を生むが、製品価格への転嫁は難しい。メ

貨物の冷却や運搬クレーンテナ船が停泊中は原則

販売競争の下で「購入価値が上昇してもレンタル料金に転嫁できない」（大

日本郵船）と話す。ある。〇四年十一月完全

施行の畜産排せつ物法は、悪臭対策などで一定

規模以上の畜産農家に排せつ物を堆肥（たいひ）にするなど管理・処理施設の設置を義務付けた。

牛や豚など家畜の種類や規模で異なるが、百頭十平方㍍の施設で二千五百万円前後必要になる。

建機最大手のコマツは堆肥を発酵させるおがく

ずなど維持費もかかる。

全国の養豚農家が〇二

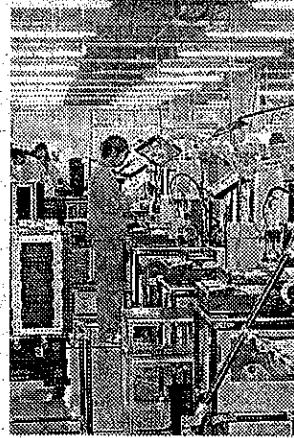
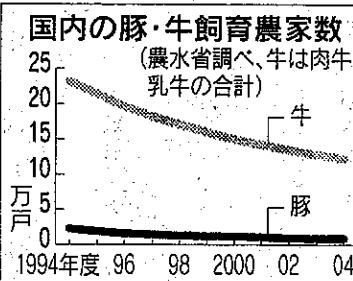
年分の一に減るなど、小規模農家を中心とした減少が続

く。「負担の重い環境投

資が転廃業を加速させた」（東京市場の食肉卸業者）。畜産業界の供給

手のアクティオ・東京・千代田）と困惑顔だ。

地図が塗り替わりつつあり、今後、食肉市況に影響が出る可能性もある。



島根富士通では接合面のチェックに入む沿岸から二十四以

内、船の

トを誰が負担するのかも

規制で増えるコスト

環境規制で増えるコスト

施行の畜産排せつ物法

は、悪臭対策などで一定

規制する方針だ。硫黄分含有量を〇・五%

〇・五%減らす、先進諸国で

も厳しい部類の規制にな

る見込み。建機各社は新

の肉牛農家だと約二百四

十平方㍍の施設で二千五

百万円前後必要になる。

せつ物を堆肥（たいひ）

にするなど管理・処理施設の設置を義務付けた。